
NEWS RELEASE (2025 年 5 月 12 日) 取材依頼

【博物館】鹿児島県産標本などに基づき大型のフサカサゴ科魚類を新種記載、
「ダイオウカサゴ」と命名

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学総合研究博物館の研究チームは、食用魚としてもよく利用されるフサカサゴ科オニカサゴ属魚類にて、新種 *Scorpaenopsis gigas* (スコルペノブシス ギガス) を記載し、新標準和名として「ダイオウカサゴ」を提唱しました。学名・和名ともに、本種がオニカサゴ属魚類の中では大型になることに因みます。

本研究の成果は、日本魚類学会が発行する英文誌 *Ichthyological Research* にて 2025 年 5 月 5 日に公開されました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

日本・台湾・タイから得られた標本に基づき、ダイオウカサゴ *Scorpaenopsis gigas* を新種記載し新標準和名を提唱しました。ホロタイプ（種の基準として世界で 1 つだけ指定される標本）は鹿児島県内之浦湾産の標本で、国内からは鹿児島県の他に静岡県、長崎県から採集されています。

新種記載に使用した標本（タイプシリーズ）は鹿児島大学総合研究博物館・京都大学総合博物館・高知大学・タイ国立自然史博物館に収蔵されています。

【掲載論文】*Scorpaenopsis gigas*, a new Indo-West Pacific species of scorpionfish (Scorpaenidae)

【著者名】Tatsuya Matsumoto and Hiroyuki Motomura

【掲載誌】*Ichthyological Research*

【DOI】<https://doi.org/10.1007/s10228-025-01027-w>

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>



写真. 生鮮時のダイオウカサゴのホロタイプ (標準体長 307.2 mm : 鹿児島県内之浦湾産)

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之 (モトムラ ヒロユキ)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL : 099-285-8111; 080-5657-0586

E-mail : motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学総合研究博物館 特任助教

松本 達也 (マツモト タツヤ)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL : 080-9265-2491